

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02580 歴史博物館等施設管理事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	009	歴史博物館等施設管理事業			
事業期間	平成 2年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	安城市歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター施設管理事業 ・歴史博物館運営事業 ・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター運営事業				

【事業分析】

対象	歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター・安祥城址公園の利用者が
目的	歴史や美術に親しみ、常に快適に利用できるようになります。
手段	博物館協議会及び市民ギャラリー運営委員会を開催し運営について意見をいただき、指定管理により施設管理や集客イベント等を行います。
事務内容	歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター・安祥城址公園の管理運営、博物館協議会及び市民ギャラリー運営委員会開催、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		196,715	460,649	656,732
事業費		190,015	453,349	649,432
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	128,000
	その他	930	200,920	210,917
	一般財源	189,085	252,429	310,515
人件費計		6,700	7,300	7,300
正規（人）		1.00	1.00	1.00
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	指定管理連絡調整会議（毎月）、博物館協議会3回・ギャラリー運営委員会2回開催、施設修繕	指定管理連絡調整会議（毎月）、博物館協議会3回・ギャラリー運営委員会2回開催、施設修繕、ギャラリー空調工事	指定管理連絡調整会議（毎月）、博物館協議会3回開催・ギャラリー運営委員会2回開催、施設修繕、ギャラリー保全改修工事、歴博展示室LED更新修繕

事務事業評価シート（2 / 2）

2 頁

令和 8年 8月12日
15時51分37秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02580 歴史博物館等施設管理事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
歴史博物館入館者数	人	0.00 85,824.00	89,000.00 78,993.00	72,000.00 0.00
市民ギャラリー入館者数	人	0.00 118,023.00	120,000.00 137,665.00	95,400.00 0.00
市民ギャラリー展示室利用率	%	0.00 64.80	75.00 63.80	55.00 0.00
埋蔵文化財センター入館者数	人	0.00 11,278.00	12,000.00 11,147.00	11,450.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市域の歴史を後世に伝える文化財の保全のための施設です。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	市域の歴史や文化を紹介し、芸術発表の場となっています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	歴博の入館者数、ギャラリーの部屋稼働率が目標を下回りました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	指定管理者と協働で施設管理を行っています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	2
理由	施設・設備の老朽化が進んできています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和7年度は市民ギャラリーの空調工事および令和8年度の市民ギャラリー改修事業の設計委託のためにトータルコストが増えました。市民ギャラリーの入館者数は増加し目標を上回りましたが、歴博・埋文センターの入館者数、ギャラリーの部屋利用率が目標を下回りました。令和8年度は、市民ギャラリー改修工事、歴博の展示室照明LED更新修繕等の工事や修繕のためトータルコストは増加しています。これらの改修等のため、市民ギャラリーは12月から貸館停止、歴博は2月から3月にかけての展示休止などが予定されていますが、目標の達成に向けて指定管理者とともに来館者サービスの向上とSNSなどを利用したPRをさらに進めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02581 丈山苑管理事務

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	003	7 観光・交流			
施策の取組	003	観光資源の充実			
事務事業	007	丈山苑管理事務			
事業期間	平成 8年度 ～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	丈山苑の設置及び管理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	丈山苑の利用者が
目的	風雅を楽しむ詩作に遊んだ石川丈山のところを四季折々の草木を通じて感じられ、快適に施設を利用できるようになります。
手段	施設管理やイベントの実施を指定管理により行います。
事務内容	指定管理事務、丈山苑改修、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		50,748	144,584	54,642
事業費	事業費	44,048	139,474	50,262
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	37	40	40
	一般財源	44,011	139,434	50,222
	人件費計	6,700	5,110	4,380
	正規（人）	1.00	0.70	0.60
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	指定管理者連絡調整会議（毎月）、建物等修繕、樹木剪定委託、丈山苑修繕設計委託、四阿茅葺修繕	指定管理者連絡調整会議（毎月）、建物等修繕、樹木剪定委託、丈山苑改修工事	指定管理者連絡調整会議（毎月）、建物等修繕、樹木剪定委託

事務事業評価シート（2 / 2）

4 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 51 分 37 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02581 丈山苑管理事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
丈山苑入苑者数	人	0.00 28,037.00	28,200.00 29,155.00	34,500.00 0.00
苦情件数	件	0.00 4.00	0.00 5.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由 必要性 市民ニーズの有無	石川丈山を顕彰する施設は当該施設のみです。 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由 有効性 目標に対する進捗状況	市の観光拠点の一つとして認識され、来苑者の満足は高いです。 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	2
4	理由 効率性 事業の効率化・事業費の削減	入苑者目標は達成しましたが、クレームがありました。 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由 公平性 事業規模・サービス水準	指定管理者制度を導入し、管理を委託しています。 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	他自治体の類似施設と同等または安価で呈茶事業を行っています。	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	令和 7 年 12 月から年度末まで改修のために休苑をしましたが、入苑者数の目標は達成することができました。令和 8 年度の開苑 30 周年に向けて施設の改修を行い、休苑期間中にイベント準備等ができました。近隣からのクレームがありましたが適切に対応しました。SNS なども効果的に活用し、市民が建物や庭園を通して市域の偉人石川丈山について知ることができる施設として美観を維持していきます。また、観光拠点として市内外の来苑者の集客にも力を入れていきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02582 歴史博物館展示事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	010	歴史博物館展示事業			
事業期間	平成 3 年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	博物館法、安城市歴史博物館の設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 歴史博物館常設展事業 ・ 歴史博物館特別・企画展事業 ・ 企画展調査事業 ・ 次年度対策事業				

【事業分析】

対象	歴史や文化に関心がある人が
目的	展覧会を観覧することにより安城市や地域の歴史文化に対して理解を深められるようになります。
手段	特別展企画展を年 5 回開催し、記念講演や講座を実施します。また、調査の成果を常設展示に反映させます。
事務内容	特別展企画展・記念講演会開催、常設展管理・展示替え・リニューアル検討

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		39,485	41,931	45,954
事業費	事業費	26,085	25,871	29,164
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	1,719	1,491	2,018
	一般財源	24,366	24,380	27,146
	人件費計	13,400	16,060	16,790
その他経費	正規（人）	2.00	2.20	2.30
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	特別展 3 回、企画展 2 回、記念講演会、次年度以降展覧会調査	特別展 3 回、企画展 2 回、記念講演会、次年度以降展覧会調査	特別展 3 回、企画展 1 回、記念講演会、次年度以降展覧会調査、展示室照明 L E D 更新

事務事業評価シート（2 / 2）

6 頁

令和 8年 8月12日
15時51分37秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02582 歴史博物館展示事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
特別展企画展観覧者数	人	0.00 27,745.00	26,800.00 25,372.00	22,500.00 0.00
常設展観覧者数	人	0.00 13,483.00	14,000.00 14,834.00	14,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	市域の歴史・文化を後世に伝えることは市が行うものです。	
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	市域に関わる展示を年4回開催し、来館者の満足度も高いです。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	2
4	理由	特別展・企画展の入館者数が目標を下回りました。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	指定管理者制度を導入し、PRや関連事業を実施しています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	市域の歴史に関する展示を中心に実施しています。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	年度末の企画展「村中安全」は指定管理者と協働でイベントを実施し、目標を上回ることができました。その他の特別展は目標を若干下回りました。常設展示はテレビで取り上げられたことから入館者目標を達成しました。令和7年度は、終戦80年であったため夏休みに戦争に関する展示を実施しました。そのため令和6年度よりも観覧者数を伸ばすことができませんでした。しかし、市域の歴史を後世に伝えていくためには意義はあったと考えられます。今後も石川丈山など地域の歴史を紹介する展示を引き続き実施していきます。今後もさらに多くの市民に来館していただき、地域の歴史を学ぶ場となるように展示内容の充実に向けていきます。常設展示室・企画展示室ともに開館から35年を経過し、設備の老朽化が目立つようになってきているため、計画的に修繕を実施する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02583 歴史博物館講座等開催事業 電話番号 0566-77-6655
【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	011	歴史博物館講座等開催事業			
事業期間	平成 3 年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	博物館法、安城市歴史博物館の設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・歴史博物館体験学習等開催事業 ・歴史博物館見学学習・実習等受け入れ事業				

【事業分析】

対象	歴史に関心のある人、市内小中学生、学生が
目的	地域の歴史文化を学習し理解できるようになります。
手段	連続講座・松平講演会を開催し、見学学習・博物館実習をはじめ総合学習の一環として他の学年や市外小中学生、高校生のほか中学生の職場体験を受け入れ、見学学習をサポートするボランティアを育成します。
事務内容	入門講座開催、松平講演会開催、見学学習・職場体験受入、博物館実習実施、博物館ボランティア育成

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		8,914	7,821	10,243
事業費		874	521	753
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	108	60	54
	一般財源	766	461	699
人件費計		8,040	7,300	9,490
	正規（人）	1.20	1.00	1.30
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	入門講座（1 テーマ） 連続講座（2 テーマ） 見学学習、体験学習、松平シンポジウム、博物館実習、博物館ボランティア例会・養成	入門講座（1 テーマ） 連続講座（2 テーマ） 見学学習、体験学習、松平講演会、博物館実習、博物館ボランティア例会・養成	入門講座、連続講座、見学学習、体験学習、松平講演会、博物館実習、博物館ボランティア例会・養成

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02583 歴史博物館講座等開催事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
記念講演会等講座等聴講率	%	0.00 52.00	75.00 68.00	75.00 0.00
小中学生来館者数	人	0.00 3,217.00	3,600.00 2,283.00	2,700.00 0.00
博物館ボランティア参加者数	人	0.00 2,432.00	2,500.00 2,700.00	2,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	市域の歴史に関する講座を中心に実施します。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	定員を超える講座もあります。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
4	理由	定員を下回る講座もあり、内容やPRの再検討が必要です。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	講座に応じた申込方法を実施し、改善を行っている。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	他自治体と同等以上の講座を実施しています。	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	小中学校の見学学習は、市内の小中学校 6 年生と中学 2 年生に市域の歴史について学ぶ機会となっています。令和 8 年度はアジア大会の関係でバスの手配が困難になってきたため、日程の調整を早めました。講座については、松平シンポジウムに代わる松平講演会を実施し大変好評でした。一部目標に達成できていない講座についてはアンケートを取るなど内容の見直しを行っていきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02584 歴史博物館運営事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	012	歴史博物館運営事業			
事業期間	平成 3 年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	博物館法、安城市歴史博物館の設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 歴史博物館情報提供事業 ・ 歴史博物館収蔵品購入事業				

【事業分析】

対象	地域の歴史文化に関心のある人が
目的	調査研究ができ、貴重な歴史資料を適切な環境で保存することで、実物資料を見ることができるようになります。 。
手段	展示室・収蔵庫の環境管理及び資料くん蒸などにより収蔵資料の保存をはかります。
事務内容	文献資料室運営、展示室環境管理、収蔵品の購入、収蔵資料修繕、くん蒸

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		20,879	25,807	29,466
事業費		15,519	20,697	24,356
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	15,519	20,697	24,356
人件費計		5,360	5,110	5,110
	正規（人）	0.80	0.70	0.70
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	歴史資料・参考資料購入、くん蒸（6 回）、 収蔵庫・展示室環境保全業務（5 回）・真菌検査（2 回）、研修参加、文献資料室運営管理	歴史資料・参考資料購入、くん蒸（4 回）、 収蔵庫・展示室環境保全業務（5 回）・害虫検査（8 回）・真菌検査（4 回）、研修参加、文献資料室運営管理	歴史資料・参考資料購入、くん蒸（4 回）、 収蔵庫・展示室環境保全業務（5 回）・害虫検査（8 回）・真菌検査（4 回）、研修参加、文献資料室運営管理

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02584 歴史博物館運営事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
博物館収蔵資料点数	点	0.00 117,917.00	118,200.00 128,485.00	132,000.00 0.00
文献資料室収蔵資料点数	点	0.00 63,827.00	66,000.00 64,893.00	66,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	収蔵資料は適切な保存管理が必須です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1
理由	市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1
理由	文献資料室の利用や、資料閲覧を実施しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1
理由	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
理由	くん蒸薬剤の変更に伴い、害虫検査の回数を増やしました。 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	博物館を継続して運営していくためには、市域の様々な歴史資料を収集し、適切な環境で保存していくことが必要です。指定管理者と協働で、適切な温湿度の管理や清掃を実施し、さらに文化財の専門業者による展示室の清掃や資料のくん蒸などを行っています。令和7年度からは、くん蒸薬剤変更に伴い、資料保全に関する研修に参加し、害虫検査の回数を見直すなどして収蔵資料を環境を整えました。文献資料については、収蔵スペース不足に対応するために重複している書籍の整理を実施しました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02585 史料整理活用事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	013	史料整理活用事業			
事業期間	平成20年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	安城の歴史や文化に興味のある人が
目的	市内の文献資料を通してより深く関心をもてるようになります。
手段	市史編さん事業により刊行した新編安城市史等の幅広い活用を促すとともに、執筆の根拠となった古文書等の資料、マイクロフィルム、複製コピーなどの貴重な歴史的財産を整理・保存・公開します。また、未だ旧家・町内会・寺社等には未公開・未整理の貴重な歴史資料が多数存在し、それらの調査・整理・保存・公開を行います。
事務内容	収蔵・寄託資料管理、収蔵等資料整理、資料調査、文書史料集成刊行

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		24,482	31,395	33,099
事業費		17,782	21,175	25,069
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	17,782	21,175	25,069
人件費計		6,700	10,220	8,030
	正規（人）	1.00	1.40	1.10
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	資料調査・受入・整理 ・研究・収蔵、文書史料集成刊行	資料調査・受入・整理 ・研究・収蔵、文書史料集成作成	資料調査・受入・整理 ・研究・収蔵、文書史料集成作成

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02585 史料整理活用事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
博物館収蔵資料点数	点	0.00 117,917.00	118,200.00 128,485.00	132,000.00 0.00
資料整理点数	点	0.00 4,765.00	3,200.00 10,508.00	4,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	市域の歴史資料を調査・収集・保存する必要があります。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	資料を展示に利用するなど、市域の歴史の普及を図っています。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	継続していた資料群の整理が終了し、目標を上回りました。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	職員の研修を行い、事業が継続できるようにしています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	資料の収集・整理を継続的にを行っています。	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	市域の歴史に関する収蔵資料、寄贈資料等の整理を行い目録を作成するなど、展示や資料調査などで活用できるようになっています。開館以来市民から寄贈いただいた資料などを中心に整理を実施し、市民が市域の歴史を学ぶことから目標を上回る整理点数となりました。また、資料整理の成果から文書史料集成を作成するとともに展示でも活用しました。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価

所属 0005758030 文化振興課文化財係

事務事業 02586 文化財啓発事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	014	文化財啓発事業			
事業期間	昭和36年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト	○		
根拠法令等					
備考	平成29年度からは、安祥文化のさとまつりが指定管理者の事業になりました。令和4年度は、大河ドラマ「どうする家康」にあわせてガイドボランティアを養成し、高校生と協働で史跡解説YouTube動画を作りました。また、市制施行70周年記念として、西三河棒の手交流大会を開催しました。令和6年度は高校生YouTube事業を見直し、令和7年度から安城市ジュニアキュレーター養成講座、文化財シンポジウムなどを実施しました。				

【事業分析】

対象	将来にわたって文化財の価値を享受する全ての市民が、
目的	地域の歴史を学びながら、郷土愛（シビック・プライド）を醸成することができます。また、歴史・文化に関わる事業を通じて人と人とが繋がり、歴史を核としたコミュニティが形成されます。また、市外からの観光客を通じて、地元の歴史・文化の大切さを気づくこととなります。
手段	調査研究成果に基づく、各種講座の実施やパンフレットの作成と配布、埋蔵文化財センターでの展示、ボランティア団体との協働や育成などを行うことにより、市民が安城の歴史の価値を理解できるようにします。
事務内容	夏休み子ども考古学講座やおおぞら歴史教室などの各種講座（出前講座を含む）の企画と実施、展示の企画と実施およびパンフレットの作成、歴史の散歩道整備、各ボランティア団体との育成や協働、地域のイベントや小中学校総合学習への協力などがあります。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		5,901	7,780	8,739
事業費		2,551	2,670	3,629
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	106	31
	一般財源	2,551	2,564	3,598
人件費計		3,350	5,110	5,110
	正規（人）	0.50	0.70	0.70
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	各種出前講座 土器づくり教室 夏休み考古学講座 おおぞら歴史教室 歴史の散歩道（10種） 高校生YouTube制作 ボランティア協働事業	各種出前講座、土器づくり教室、夏休み考古学講座、考古学講座、おおぞら歴史教室、歴史の散歩道（10種）、ジュニアキュレーター講座、ボランティア協働事業	各種出前講座、土器づくり教室、夏休み考古学講座、おおぞら歴史教室、歴史の散歩道（10種）、ジュニアキュレーター講座、文化財シンポジウム、古代体感デー、ボランティア協働事業

事務事業評価シート（2 / 2）

2 頁

令和 8年 8月12日
15時51分46秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02586 文化財啓発事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
文化財関連事業参加者数	人	0.00 21,487.00	22,500.00 24,812.00	25,000.00 0.00
出前授業などの講座数	回	0.00 16.00	14.00 20.00	16.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	市独自の歴史・文化を発信する事業です。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	学校や町内会から出前授業などの開催に関する要望が増加傾向です	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	出前授業等の実績が増加したことにより目標を上回りました。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	事業の課題を整理し、目的に基づく立案を進めています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	子どもから大人まで幅広く参加しています。	

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	文化財関連事業参加者については、埋蔵文化財センターの入館者が微減となりましたが、出前授業等の活動に加え、令和7年度から始めた安城市ジュニアキュレーター講座等により、令和5年度実績25,003人に迫る数字を得ることができました。令和7年度には小中学生15名が全7回の講座を修了した安城市ジュニアキュレーター講座、本證寺史跡指定10周年記念シンポジウム等の新たな企画を実施し、令和8年度にも文化財シンポジウムとして歴史文化に親しむ市民の満足度を高めるとともに、事業に関わる新たな市民の開拓に取り組んでいます。また、文化財啓発事業の課題を整理することで、その目的に応じたターゲットを設定することで、既存・新規の事業の意図を係内で共有し、事業を進めるための基盤を整備することができました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価

所属 0005758030 文化振興課文化財係

事務事業 02587 文化財保護事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	015	文化財保護事業			
事業期間	昭和39年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	文化財保護法、愛知県文化財保護条例、安城市文化財保護条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を分割・統合しています。 ・文化財保護事業（史跡整備部分を分割） ・文化財保存事業（統合） ・文化財調査事業（統合） ・郷土史出版奨励事業（統合）				

【事業分析】

対象	将来にわたって文化財の価値を享受する全ての市民が、
目的	文化財を保存し、整備・活用することによって、その価値を享受できるようになります。このように市民が文化財の価値を「共有」することで、地域への誇りが芽生え、関心が高まり、連帯感が生まれます。
手段	事業内容は総務、調査、保存の 3 つに分けられます。総務では、文化財指定やそのための文化財保護委員会運営、史跡説明看板のリニューアルなどがあります。調査では、建造物や美術工芸品の調査（大学への委託を含む）を行っています。保存では、有形・無形民俗文化財の所有者・関係者、郷土史に関する書籍等の出版される市民への補助金を交付しています。
事務内容	文化財指定や現状変更に関する事務、文化財保護委員会の運営事務、史跡説明看板のリニューアルや天然記念物害虫駆除の委託業務のための事務、調査等を委託する場合の事務、様々な補助金交付事務があります。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		22,028	21,311	53,784
事業費		12,648	11,091	42,834
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,648	11,091	42,834
人件費計		9,380	10,220	10,950
	正規（人）	1.40	1.40	1.50
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	文化財保護委員会運営 史跡説明看板リニューアル 天然記念物害虫駆除 文化財悉皆調査 無形民俗文化財保存伝承・有形文化財修理補助金交付 東海道松並木補植	文化財保護委員会運営 、史跡説明看板リニューアル、天然記念物害虫駆除、文化財悉皆調査、無形民俗文化財保存伝承・有形文化財修理補助金交付、東海道松並木補植	文化財保護委員会運営 、史跡説明看板リニューアル、天然記念物害虫駆除、文化財悉皆調査、無形民俗文化財保存伝承・有形文化財修理補助金交付、東海道松並木補植

事務事業評価シート（2 / 2）

4 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 51 分 47 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02587 文化財保護事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
指定および登録文化財の件数	件	0.00 244.00	244.00 244.00	244.00 0.00
歴史・文化に愛着や誇りを感じる人の割合（R 5、R 7）	%	0.00 0.00	44.50 37.50	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市独自の文化財保護制度で市民等への支援を行っています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	社会情勢の変化により市の役割が高まっています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	アンケートは目標を下回りましたが、指定件数は維持しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	管理調査の周期をシステム化し、その運用を維持しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	文化財所有者・関係者に適切な支援が実施できています。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	令和 7 年度は東海道のマツ並木について沿線の小学校の卒業記念植樹を 3 本実施し、若年層に対する文化財保護の意識の醸成に継続して取り組みました。また、本證寺所蔵絵伝をはじめとする指定文化財についても保護に取り組む所有者・関係者に適切な支援を行いました。令和 8 年度から東海道のマツ並木の管理委託、本證寺庫裏修理工事補助金等による事業費の増加に対しても、適切な職員配置と事業の進捗管理に努めていきます。昨今の社会情勢の変化に伴い、文化財の所有者・関係者の方々が貴重な有形・無形の文化財、特に史跡・天然記念物といった不動産を維持・継続することが難しくなっています。そのため、市に対する要望も多くなっています。そうした方々に寄り添いながらも、公平性のある文化財保護行政を継続して実施していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02588 史跡整備事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	016	史跡整備事業			
事業期間	昭和36年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト	○		
根拠法令等	文化財保護法、愛知県文化財保護条例、安城市文化財保護条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業から分離、独立させています。 ・文化財保護事業				

【事業分析】

対象	史跡の価値を共有すべき全ての市民が、
目的	史跡を活用できるように整備することで、その価値を理解し、誇りが生まれることを目指します。
手段	まず、史跡を開発から守り保存するために公有化（用地買収）を行います。次に、その史跡が価値を損なうことがないよう保存し、その価値を見てわかるよう整備を行い、魅力的な活用を図ります。
事務内容	土地公有化については用地買収事務、整備については計画立案とともに有識者からの意見聴取や具体的な整備工事の実施があります。また、ワークショップの実施やイベントの開催（参加）などがあります。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		127,707	222,656	319,071
事業費		104,927	197,836	294,251
	国庫支出金	51,682	100,409	69,331
	県支出金	0	0	0
	地方債	43,779	65,000	59,000
	その他	0	106	0
	一般財源	9,466	32,321	165,920
人件費計		22,780	24,820	24,820
	正規（人）	3.40	3.40	3.40
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	本證寺境内土地公有化 本證寺ワークショップ 実施（直営） 史跡本證寺境内整備実 施設計策定 史跡本證寺境内整備工 事	本證寺ワークショップ 実施（直営） 史跡本證寺境内整備実 施設計策定 史跡本證寺境内整備工 事 旧神谷家住宅主屋実施 設計	本證寺ワークショップ 実施（直営）、史跡本 證寺境内整備実施設計 策定、史跡本證寺境内 整備工事、旧神谷家住 宅主屋改修工事

6 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 51 分 47 秒

上段：目標値　下段：実績値

【定量計画】	指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	ワークショップの参加者数	人	0.00 148.00	150.00 166.00	160.00 0.00

【定性評価】

【評価項目】	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		市独自の史跡の保護と活用に関する事業です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		アンケートで歴史・文化に親しむ割合が増えています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		ワークショップの参加者は目標を上回りました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		国庫補助金等を得ることで事業費を削減する見込みです。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		市の規模にふさわしい史跡整備に取り組んでいます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400文字)	本證寺史跡整備事業では、令和7年度に史跡整備工事の実設計、また工事中の遺跡の発見に伴う設計変更等の遅れがありましたが、庁内関係部署の協力を得て実施することができました。ただし、令和8年度については工事時期が限定される水路工事等により進捗が遅れています。また、旧神谷家住宅主屋改修工事の開始に伴い事業費が増加していますので、庁内外の調整を適切に行いながら、少しでも事業を前進させていきます。 国史跡については見学者が来訪しやすい環境整備に取り組んでいます。また、史跡に関わるボランティア団体（本證寺の未来寺子屋）と協働しながら、市民と市が史跡を保存し活用するための下地づくりを推進していきます。

【2次評価結果】

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0005758030 文化振興課文化財係

事務事業 02589 埋蔵文化財調査事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	003	歴史資源の保存と活用			
事務事業	017	埋蔵文化財調査事業			
事業期間	昭和26年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	文化財保護法、安城市埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例				
備考	主に、住宅開発に伴い破壊される遺跡の事前調査（発掘調査による記録保存）に関する事業。				

【事業分析】

対象	将来にわたって埋蔵文化財の価値を享受する全ての市民が、
目的	遺跡が保存されたり、発掘調査によってその価値を知ること、地域への関心と誇りを得ることができます。文化財保護法により、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）を開発（土木工事）する場合は、事前調査が必要です。
手段	文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）を開発（土木工事）する場合、提出される申請書の受け付け、指導、処理を行います。可能な限り開発による破壊を回避する指導を行います。困難な場合は事前の試掘調査と発掘調査（記録保存）をしています。調査後は、調査成果を整理、研究し、報告書を刊行するとともに、出土遺物は収蔵保存を行います。そして、その発掘成果を市民にフィードバックしています。
事務内容	埋蔵文化財包蔵地発掘の申請書受け付け、指導、処理、発掘調査（試掘・本発掘および立会い調査）、出土遺物の整理、調査研究、発掘報告書の刊行などがあります。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト	事業費	113,341	99,240	116,270
	国庫支出金	95,251	80,990	98,750
	県支出金	15,971	6,560	5,227
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	137	0	17,193
	人件費計	79,143	74,430	76,330
	正規（人）	18,090	18,250	17,520
		2.70	2.50	2.40
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	開発に伴う市内遺跡発掘調査 本證寺境内確認調査 塚越古墳・獅子塚古墳の確認調査	開発に伴う市内遺跡発掘調査、桜井古墳群測量調査、明治航空基地関連施設調査	開発に伴う市内遺跡発掘調査、本證寺境内確認調査、桜井古墳群確認調査

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02589 埋蔵文化財調査事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
住宅着工前に発掘調査を終えることのできなかった件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		市独自の歴史を明らかにする事業です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		埋蔵文化財のある場所で開発する個人・事業者には必須です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		適切な対応で開発の遅延は発生させていません。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		新規の国庫補助金を得ることで事業費の削減に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		公平な埋蔵文化財行政を行っています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	令和 7 年度は個人住宅建設等の開発事業を適切に調査実施する中で、明治航空基地関連施設等の新たな発見による市内文化財に関する基礎情報の蓄積を行うことができました。令和 8 年度は、通常の個人住宅建設等の開発案件に加えて、事業者負担の民間開発に伴う大規模調査を予定していることから、事業費は増加しています。埋蔵文化財調査事業は、埋蔵文化財包蔵地における開発の増減により不定期で発掘・確認試掘調査が発生することで年間計画が立てにくいことです。そうした事業の特性を踏まえ、事業を適切に実施しながら、埋蔵文化財調査ができる職員の確保と育成に取り組んでいきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02590 文化活動団体支援事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	029	文化活動団体支援事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	安城市補助金等の予算執行に関する規則 安城文化協会補助金交付要綱				
備考					

【事業分析】

対象	文化協会が
目的	財政的基盤を充実させ、加盟する団体、個人の活動も活性化し、芸術文化の交流が深まります。
手段	文化活動団体を支援し、広く市民の文化活動を活性化させ、生涯にわたり、健康に芸術や文化に取り組める基盤を作ります。近年文化団体の減少傾向がありますが、安城の文化を支える文化団体の灯を絶やさぬように方向性を模索しながら助成を実施します。
事務内容	助成金交付事務（職員人件費の部分があるため前金払いで、年間を2回に分けて支払います。） 青少年文化芸術活動団体等への激励金交付事務

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		4,700	5,080	9,780
事業費		2,020	2,160	5,400
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,020	2,160	5,400
人件費計		2,680	2,920	4,380
	正規（人）	0.40	0.40	0.60
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	・文化協会の育成 ・今後の文化協会につ いての検討 ・文協祭の実施 ・市民芸術祭委託事業 ・文協選抜展、こあ展 ・青少年文化芸術活動 団体等の支援	・文化協会の育成 ・今後の文化協会につ いての検討 ・文協祭の実施 ・市民芸術祭委託事業 ・文協選抜展、こあ展 ・青少年文化芸術活動 団体等の支援 ・創立80周年に向けて の事業計画立案	・文化協会の育成、今 後の検討 ・文協祭の実施 ・市民芸術祭委託事業 ・文協選抜展、こあ展 ・青少年文化芸術活動 団体等の支援 ・創立80周年記念事業 ・文協事務所移転

事務事業評価シート（2 / 2）

2 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 51 分 57 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02590 文化活動団体支援事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
文化協会加盟団体数	団体	0.00 71.00	71.00 67.00	67.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民による芸術団体活動をまとめる文化協会への補助金支援です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	安城市の文化を支える団体で、広く市民の参加があります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	会員の高齢化により減少していると考えられます。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	芸術祭３部門を文化協会に委託し、参加者増に貢献しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市の文化協会と比較し、適正と考えられます。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	文化協会に市民芸術祭を委託し11年目になります。「市民文芸まつり」は年々応募数が増えています。文化協会所属の俳句、短歌の講師を小中学校に派遣をする活動により、小中学生応募数が増加しています。「市民芸能まつり」も参加人数が増加傾向にあり、観客も伸びています。「文芸・技芸・趣味の集い」は参加型の体験コーナーを設け、市民の方に広く楽しんでいただけるよう工夫のある行事となっています。市、文化協会共にSNS等による発信機会を増やすなど、さらに参加者を増やす取り組みを進めていきます。「安城市青少年文化芸術全国大会等激励金」については、事業を継続することで、青少年の文化芸術活動を支援していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価

所属 0005758040 文化振興課芸術文化係

事務事業 02591 市民ギャラリー美術品購入事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	028	市民ギャラリー美術品購入事業			
事業期間	昭和57年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	安城市附属機関の設置に関する条例（安城市条例第34号）第5条				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	地元に縁の深い作家の貴重な作品を鑑賞できます。
手段	安城市が所有するにふさわしい貴重な美術作品を調査研究し購入を進めます。購入した作品は、展示会を実施し、市民の皆さまにご鑑賞いただきます。令和8年度までに254点の美術作品を購入しました。
事務内容	地元安城ゆかりの作家を中心に調査、安城市民ギャラリー美術品等収蔵委員会にて検討、作品確認（内覧）

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト	事業費	3,741	3,830	9,036
	国庫支出金	2,401	2,370	7,576
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,401	2,370	7,576
	人件費計	1,340	1,460	1,460
	正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	安美展の最高賞の受賞作品及び、地元の作家で全国公募展等で入選受賞した作品や地元縁の作家の作品を対象に検討します。	安美展の最高賞の受賞作品及び、地元の作家で全国公募展等で入選受賞した作品や地元縁の作家の作品を対象に検討します。	安美展の最高賞の受賞作品及び、地元の作家で全国公募展等で入選受賞した作品や地元縁の作家の作品を対象に検討します。 施設改修に伴い展示室及び収蔵庫環境保全業務、収蔵作品運搬を行います。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02591 市民ギャラリー美術品購入事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
展示作品点数	点	0.00 40.00	39.00 77.00	39.00 0.00
観覧者数	人	0.00 5,535.00	4,300.00 4,476.00	3,100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		地元ゆかりの作家を熟知した市が収集する必要があります。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		観覧者のアンケートからも高い評価を得られています。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由		購入作品を十分に活用した企画展示を行えています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		多くの作品が市民の目に触れられる機会を創出しています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		他市に劣らず収蔵品を活用できています。				

【1 次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	令和 8 年度も寄贈作品や購入作品を調査しながら、安城市の収蔵作品として相応しい作品であるかを検討し、購入を進めていきます。また、令和 8 年度は施設改修に伴う展示室利用停止期間があるため、作品展示の機会が例年より少なくなりますが、広く市民の皆様に収蔵作品を鑑賞いただけるように企画展示を通して活用していきます。

【2 次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02592 芸術鑑賞会事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	027	芸術鑑賞会事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等					
備考	令和 5 年度から開始した部活動地域展開に伴い、安城市吹奏楽フェスティバルを廃止しています。 平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業から名称変更しています。 ・ 市民芸術鑑賞会事業				

【事業分析】

対象	芸術文化に興味をもつ市民が
目的	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることができます。
手段	古典芸能や伝統芸能、クラシック音楽などの鑑賞会を実施します。質の高い芸能分野の舞台公演を身近に鑑賞いただき、伝統芸能・芸術のすばらしさを感じていただきます。
事務内容	前回開催のアンケートを参考に事業内容の検討、出演団体交渉、契約事務、広報PR、チラシ作成、チケット発売、開催実施、アンケート集計、実施報告

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		13,264	12,244	13,884
事業費		5,894	4,214	3,664
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	130	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	388	461	510
	一般財源	5,376	3,753	3,154
人件費計		7,370	8,030	10,220
	正規（人）	1.10	1.10	1.40
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	愛知室内オーケストラ「安城市わくわくクラシック」及び市内小中学校アウトリーチを実施。また、部活動地域展開をふまえ、公民館アウトリーチを開催。地元アーティストの演奏とワークショップを実施した。	「人間国宝野村峰山と竹の新撰組 尺八 LIVE」及び市内小中学校アウトリーチも実施。	「ファミリー演劇鑑賞会～パパパのうた パパゲーノとパパゲーナ～」を実施します。市内小中学校アウトリーチも実施予定。

事務事業評価シート（2 / 2）

6 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 51 分 57 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02592 芸術鑑賞会事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
チケット販売枚数	枚	0.00 169.00	350.00 236.00	300.00 0.00
アンケートによる満足度	%	0.00 98.00	80.00 99.00	80.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	アウトリーチでは地元アーティストと小中学生の繋がりを育みます		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	アンケートでは高い満足度を得ています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	想定ニーズ層への訴求が十分に行き届かず下回ったものと考えます		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	オンライン券売を行い、利便性を高めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	目的に合わせて工夫を凝らして実施し、高い満足度を得ています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	へきしんギャラクシープラザで「野村峰山と竹の新撰組 尺八 LIVE」を開催し、99%のお客様から「非常に満足」「満足」というお声をいただくことができました。小中学生のこどもたちに伝統芸能に触れてほしいという考えから、チラシのデザインや選曲を親しみやすくし、親子割のチケットを導入するなどの工夫を凝らしたことで、親子で訪れた方が20組以上いました。また、関連事業として本公演の前に学校で実施したアウトリーチで興味を持ち、訪れた家族もあり、一定の効果をあげました。 アウトリーチでは5校635人の生徒たちに地元アーティストやプロ奏者による演奏を届け、和楽器や生演奏の迫力を体感したり、ともに演奏したりすることで、こどもたちとアーティストの繋がりを育みました。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02593 文化芸術協働事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8 文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	026	文化芸術協働事業			
事業期間	昭和 21 年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	市民公募文化事業補助金交付要綱、市民公募文化事業美術部門補助金交付要綱				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・市民芸術祭事業 ・市民演劇祭事業 ・安美展事業 ・市民公募文化事業				

【事業分析】

対象	芸術分野、技芸・芸能に興味があり、自ら創作する、上演する、演技することを望む市民が
目的	自作品の発表や展示、自らの技芸の披露、団体で企画した演劇の公演等をする機会を得ることができます。
手段	作品発表・展示の場を設けたり、技芸や演劇を披露する公演の場所を提供することで、市民の文化水準の向上と、それらの作品や技芸、演劇を鑑賞する機会の充実を図ります。
事務内容	市民文芸まつり、市民芸能まつり、文芸・技芸・趣味の集いの 3 事業を安城文化協会に委託、安美展・市民演劇祭の企画・募集・展示及び公演実施、市民公募文化事業の企画・募集・審査と公演までの周知啓発の補助、中学生日曜教室（音楽）の開催、アートマネジメント講座の開催、安城市こども文化祭の開催

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		22,914	26,883	33,013
事業費		9,514	12,283	14,763
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	174	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	152	145	190
	一般財源	9,188	12,138	14,573
人件費計		13,400	14,600	18,250
	正規（人）	2.00	2.00	2.50
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	・市民芸術祭（安城文化協会委託）の開催 ・安美展の開催 ・市民演劇祭の開催 ・市民公募文化事業の募集、採択、補助 ・中学生日曜教室（音楽）の開催 ・アートマネジメント講座の開催	・市民芸術祭（安城文化協会委託）、安美展、市民演劇祭、中学生日曜教室（音楽）、アートマネジメント講座、こども文化祭の開催 ・市民公募文化事業の募集、採択、補助	・市民芸術祭（安城文化協会委託）、安美展、市民演劇祭、中学生日曜教室（音楽）、アートマネジメント講座、こども文化祭の開催 ・市民公募文化事業の募集、採択、補助

事務事業評価シート（2 / 2）

8 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 51 分 57 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02593 文化芸術協働事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
市民芸術祭の出演および出展者数・観覧者数	人	0.00 29,251.00	20,000.00 26,242.00	20,000.00 0.00
市民演劇祭の参加団体数	団体	0.00 7.00	6.00 6.00	6.00 0.00
市民公募文化事業の公演件数	回	0.00 10.00	12.00 11.00	12.00 0.00
アートマネジメント講座への参加者数	人	0.00 15.00	10.00 6.00	10.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市民からの公募や市民が参加する事業が主体となっています。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1
		1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	団体ごとの計画年次で市民公募文化事業の申請があります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	
理由	一部やや下回るものの多くの事業で目標を達成しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業ごとの関連性をもたせ、人材活用に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市と比較しても適正と考えられます。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	市民公募文化事業は各団体がより多くの市民に鑑賞いただけるよう、SNS を活用したりと広報を工夫しています。市民演劇祭においては公演時間の区分を増やしたり幕間の時間を延長したりと演劇団体が参加しやすい工夫をするともに、チラシの折込や SNS など広報活動にも力を入れました。市民芸術祭は継続的に活動発表の場を提供しており、市民の文化振興に貢献しています。アートマネジメント講座では受講生は少ないながらも確実にステップアップに繋がっており、別事業への参加など文化芸術を担う人材育成に寄与しています。中学生日曜教室やこども文化祭など、部活動地域展開に対応した事業にも積極的に取り組んでいます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02594 市民ギャラリー講座事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	025	市民ギャラリー講座事業			
事業期間	平成15年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	美術創作活動に意欲のある市民が
目的	質の高い創作活動の機会を得ながら学ぶことができます。
手段	多くの市民に美術に親しんでもらい制作意欲を高めていただき、生きがいを持って健康に暮らせ、将来の担い手となる感性豊かな人材を育てていく場を美術講座を通して提供します。
事務内容	計画（子ども向け、一般向け、親子向け）美術講座、講師選定、PR事務、参加者案内、材料準備事務、開催実施事務、（作品展示）、アンケート集計、報告事務

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		14,555	16,855	15,679
事業費	事業費	2,495	2,102	2,539
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	67	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	1,252	1,289	1,285
	一般財源	1,176	813	1,254
	人件費計	12,060	13,140	13,140
	正規（人）	1.80	1.80	1.80
その他経費		0	1,613	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	美術講座の企画推進に関する業務（日程、講師選定など）。講座内容検討、講師打合せ、PR、実施、アンケートの集計 16講座 1,075人（延参加者数）	美術講座の企画推進に関する業務（日程、講師選定など）。講座内容検討、講師打合せ、PR、実施、アンケートの集計 14講座 1,046人（延参加者数）	美術講座の企画推進に関する業務（日程、講師選定など）。講座内容検討、講師打合せ、PR、実施、アンケートの集計 15講座実施予定

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02594 市民ギャラリー講座事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
参加者数	人	0.00 226.00	192.00 203.00	192.00 0.00
結果アンケート	%	0.00 97.00	89.00 95.00	89.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	専門的機材を導入し、環境が整っています。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	アンケートなどでも高い人気度を得ています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	参加者も順調に推移しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	再利用できるものは再利用し、コスト面に配慮しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	子どもから大人まで幅広く実施しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	令和 7 年度の受講者アンケートで非常に高い評価を得ています。 中学生部活動地域展開に寄与する中学生美術講座は、木炭デッサンやアクリル画など美術の基礎を学ぶ場を提供しました。また、書道講座では受講者 4 名が安美展に出品しました。さらに日本画講座では受講者 12 名が安美展に出品し、うち 2 名が受賞しました。 今後も、市民の多様なニーズに応じた講座内容の充実、創作活動の活性化、受講者間の交流促進、情報共有の機会提供を通じて、創造性豊かな地域文化の振興に寄与していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価

所属 0005758040 文化振興課芸術文化係

事務事業 02595 市民ギャラリー企画展事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	004	8文化芸術			
施策の取組	002	文化芸術活動の活性化			
事務事業	024	市民ギャラリー企画展事業			
事業期間	平成16年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・市民ギャラリー郷土作家展事業 ・市民ギャラリーコレクション展事業				

【事業分析】

対象	文化芸術に関心のある市民が
目的	郷土の作家を中心とした美術作品を鑑賞する機会を得ることができます。
手段	年3回程度、市が所蔵する美術作品を中心に展示する企画展を開催します。郷土ゆかりの作家を取り扱う展覧会や市民ギャラリー収蔵品から選りすぐったテーマ展示のほか、他の美術館等の協力のもと、幅広い時代や地域の作品を紹介する展覧会を実施します。
事務内容	作家及び作品調査、企画立案、作品借用事務、PR事務、作品運搬委託事務、企画展示実施、アンケート集計、開催結果報告事務

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		11,865	14,423	13,119
事業費		1,815	3,473	2,169
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	161	206	5
	一般財源	1,654	3,267	2,164
人件費計		10,050	10,950	10,950
	正規（人）	1.50	1.50	1.50
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	特別展「やきものの秘密 どうやってできるの？この色・かたち」（27日間）、企画展「Flora 市民ギャラリーを彩る草と花」（10日間）、「丸山今朝三展～永遠なる自然との対峙～」(14日間)	特別展「絵画から見る日本デンマークの時代～愛知近代美術の表現者たち～」(32日間)、企画展「旅人のレンズ-風景画の世界-」(10日間)、「横山夕葉展 墨跡に込める心の響き」(15日間)	収蔵品展「四季をたどる～五感を研ぎ澄ませて～」(26日間)、企画展「ともに生きる生物たちー共生の姿ー」(10日間)

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02595 市民ギャラリー企画展事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
観覧者数	人	0.00 5,535.00	4,300.00 4,476.00	3,100.00 0.00
アンケートによる満足度	%	0.00 93.00	85.00 88.30	85.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	地元作家作品を主に展示しているため市が実施する必要があります	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	アンケート結果から観覧者ニーズを十分に満たしているといえます	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	目標を上回る観覧者数、満足度を達成しています。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	過去の出展歴を鑑みて、各種様々な作品を展示しています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	収蔵品展は無料で開催し、広く観覧いただけるよう開放しています	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	地元作家に焦点を当てた企画展や地域の歴史に根付いた特別展を開催しました。観覧者数、アンケートでの満足度も目標値を上回っており、多くの市民に郷土の美術を知る機会を提供するとともに、市民のニーズにこたえられています。今後は子どもや若者がより広く親しんで観覧できるような内容を盛り込み、広くPRをしていきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。